

収 受	
令和	- 3. 6. 18
環境第 環境第	471-12 号
吹田市	

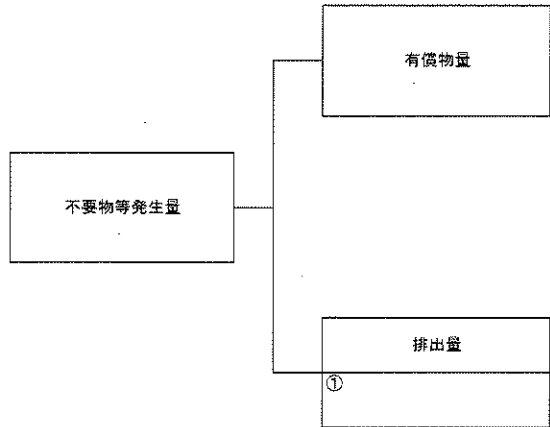
様式第二号の九（第八条の四の六関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和3年6月17日			
吹田市長 様			
提出者			
住所 大阪市淀川区西中島3-9-15			
氏名 大鉄工業株式会社 建築支店 執行役員建築支店長 福本正美			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 06-6195-6160			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	大鉄工業株式会社 建築支店（吹田市管内事業場）		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3035.000 t	全処理委託量	3035.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1773.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1203.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

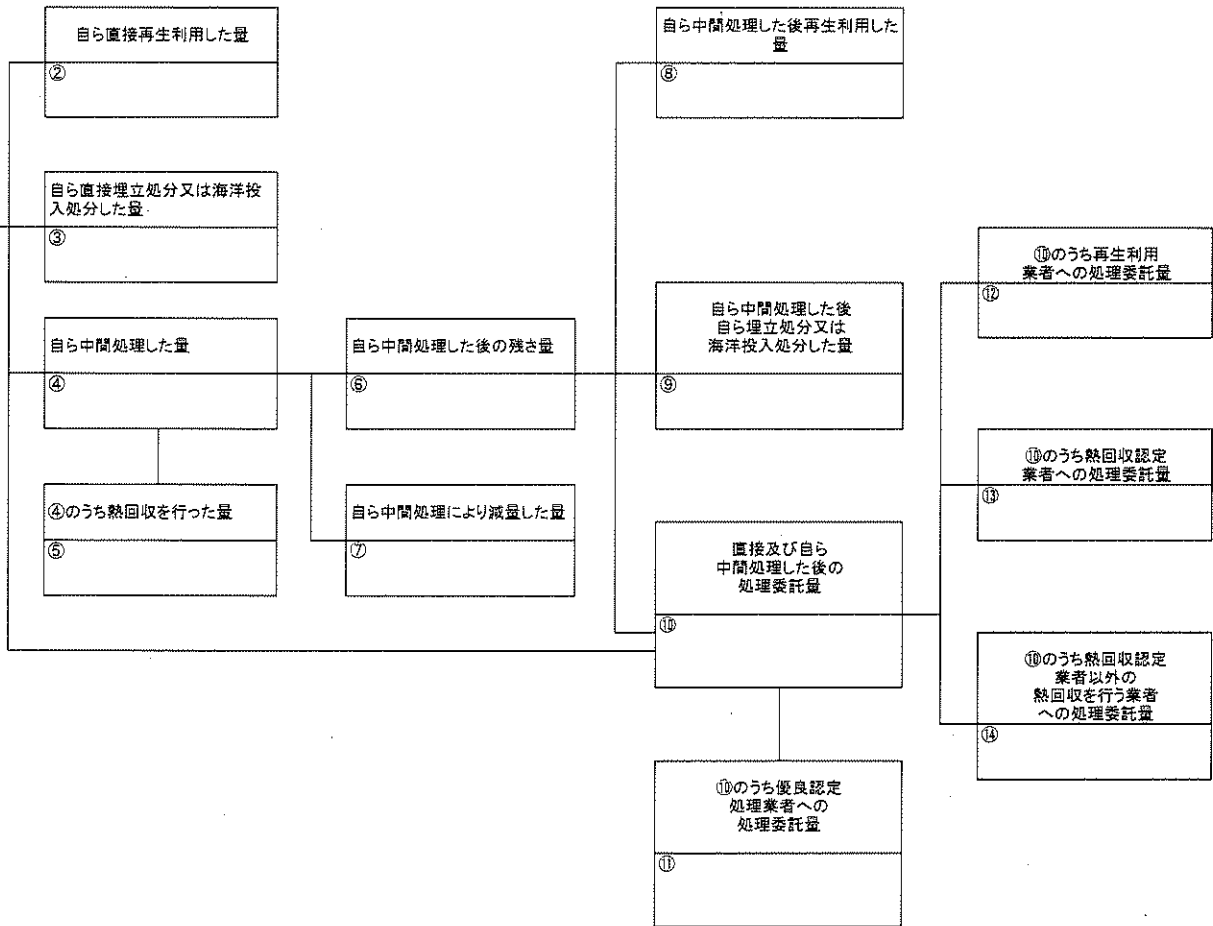
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和2年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況															
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(全処理委託量)	委託先による区分				⑫+⑬ 自ら再生利用を行った量	⑭+⑮ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
コード	名称									⑪⑯のうち優良認定処理業者への処理委託量(優良認定処理業者への処理委託量)	⑫⑰のうち再生利用業者への処理委託量(再生利用業者への処理委託量)	⑬⑱のうち熱回収認定業者への処理委託量(熱回収認定業者への処理委託量)	⑭⑲のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量)			
221	建設汚泥	40.000					0.000			40.000	40.000	40.000			0.000	0.000
600	廃プラスチック	39.725					0.000			39.725	39.725	39.725	16.800		0.000	0.000
710	建設工事の紙くず	1.800					0.000			1.800	1.800	1.800			0.000	0.000
810	建設工事の木くず	86.900					0.000			86.900	86.900	86.900	42.350		0.000	0.000
12	屑くず	1.130					0.000			1.130	1.130	1.130			0.000	0.000
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	5.000					0.000			5.000	5.000	5.000			0.000	0.000
1322	石膏ボード	15.150					0.000			15.150	15.150	15.150			0.000	0.000
1500	がれき類	102.860					0.000			102.860	102.860	102.860			0.000	0.000
1501	コンクリート破片	8,434.720					0.000			8,434.720	205.720	8,434.720			0.000	0.000
1502	アスファルト・コンクリート破片	454.400					0.000			454.400	451.400	454.400			0.000	0.000
2010	安定型建設系混合廃棄物	0.260					0.000			0.260	0.260				0.000	0.000
2020	管理型建設系混合廃棄物	214.500					0.000			214.500	214.500				0.000	0.000
2420	石綿含有ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	131.500					0.000			131.500	0.000				0.000	0.000
2440	石綿含有がれき類	109.520					0.000			109.520	109.520				0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
合計		9,637.465	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	9,637.465	1,273.955	9,181.685	59.150	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。  
 様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑮)に示す量を表へ入力。